



謹賀新年



扶桑町長
千田 勝隆

新年あけましておめでどうづいいます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
当町は、昨年8月1日に町制が施行されて65年という節目を迎えました。改めて、扶桑町の礎を築いてこられた先人の皆様のためまぬご努力と、町民の皆様の町政への格別なるご理解とご協力に、心から感謝を申し上げます。
現在、わが国の経済状況は長期にわたる景気回復にありますが、反面、好景気の実感は薄いと思うところであります。さらには、これから厳しい人口減少時代を迎え、労働生産性の低下や社会保障負担の増大などの経済活力の低下が予想され、見通しは決して明るいとはいえない状況であります。
そのような中でこそ、将来にわたり地域経済、地域活力の源となり得る次世代の子どもたちの育成支援に重点を置き、施策を展開していかなければならないと考えております。



そこで、昨年からの町事業といたしまして、放課後児童クラブ専用棟の実施設設計、児童館建設に向けて住民の方の意見を聞くためのファシリテーション業務、小中学校へのスクールソーシャルワーカーの配置などを行っております。また、他の事業といたしましては消費生活センターの設置、治水事業として村田排水路改修工事なども行っており、各事業ともおおむね計画どおり進めているところであります。

しかしながら、昨年は九州北部豪雨を始め大雨による自然災害が目立つ年でした。当町におきましても、7月・8月の局地的豪雨により、多くの家屋で床上床下浸水の被害が発生しましたことは、今後に課題を残すところとなっております。



(仮称) 多機能児童館設計ワークショップ

さて、平成30年度に入りますと、本町の長期計画である「第5次扶桑町総合計画」がスタートいたします。アンケート調査や、住民の方にご参加いただいたふそう町民会議を経て策定する計画であります。扶桑町をよりよい町とするため、計画実行に邁進していく所存でございます。また、放課後児童クラブ専用棟がいよいよ建設の運びとなります。平成31年度の供用開始に向け良い施設となるよう進めてまいります。柏森小学校や図書館の空調工事の施工や、水害に備え斎藤に貯留施設の整備も行っていきます。

本年も職員一同、「住民目線の行政」「仕事への創意工夫」をそれぞれ胸に刻み、一致結束して職務に精励していく所存であります。

町民の皆様には、何とぞ町政に結びに、皆様のなお一層のご健勝とご繁栄をお祈りいたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

